

総務産建

9月18日午前10時から開催

主な審査項目

平成24年度一般会計補正予算

● 地方特例交付金

1048万5千円減

● 普通交付税

8875万5千円

● 臨時財政対策債

3540万円

● 地区集会所設置補助金

100万円

● 施設予約システム更新

290万円

● 財政調整基金積立

5013万1千円

● 自作農財産管理事務取扱交付金

9千円

● 飛騨美濃自慢農産物育成支援事業補助金

165万3千円

● 効率的乳用後継牛確保対策支援事業補助金

21万円

● 県単土地改良事業

3510万円

● 町単土地改良事業

1850万円

平成23年度一般会計決算の認定
平成23年度水道事業会計決算の認定
平成23年度公共下水道事業特別会計決算の認定



農道整備の予定地を視察しました（中地区）

Q 防災会議の開催頻度は？
また、委員の任期は？

総務課長 現在、防災計画の見直しのために開催しています。また、災害発生が予想されるときにも開催します。委員の任期は2年で、再任は妨げません。

Q 舗装道路に傷みの著しい場所がある。防塵後、沈下を待つ期間が短いのではないか。
建設課主幹 農道は、初年度

は碎石を敷くまでにとどめ、次年度に舗装をします。

地区内道路は、防塵舗装をし、様子をみてから舗装します。

現場や内容に応じて施工しますが、オークワ周辺のようにすぐに舗装しなければならぬ場合もあります。このような場合には、傷みが進んでしまうことがあることは認識しています。

Q 無人ヘリの購入価格が大幅に下がったのはなぜか。
産業振興課長補佐 一昨年、墜落で故障したヘリを廃棄し、新しく購入したものです。保険に加入していたので、購入費用の一部は保険金で支払われました。ヘリそのものの価格はあまり変わっていません。

Q 決算を見ると、名木林コミュニケーションセンターについて、地元負担金が支払われていない。なぜか？

総務部長 5月の出納閉鎖後に地元負担金が支払われたので、決算書には記載できませんでした。

Q 下水道の加入率は？
また、下水設備の耐用年数と劣化の状況は？

建設課長 加入率は77%です。下水管の耐用年数は50年で、取り換えが必要な場所はありません。下水道の加入促進については、区長会等に現在の加入率などの実態を示し、協力をお願いしています。